

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2017年2月）議事録

日 時：2017年2月17日（金）午後5時30分～7時00分

場 所：AP品川アネックス Aルーム

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登、西平賀昭、永富良一、碓井外幸、
甲斐裕子、勝村俊仁、川原 貴、栗原 敏、
後藤勝正、下光輝一、武政 徹、田中喜代次、
田畑 泉、成田和穂、宮地元彦（各理事）、
清田 寛、小林康孝、定本朋子（各監事）、
尾形直則（第72回大会長代理・愛媛）、
山次俊介（第73回大会長代理・福井）

欠席者：大野 誠、小野寺昇、坂本静男、須田和裕、
竹森 重、内藤久士、西牟田守、能勢 博、
浜岡隆文、山内秀樹（各理事）、
井上 茂（監事）

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

9月の評議員会、社員総会の議事録と前回の理事会議事録を、理事会開催中に内容確認を行い、訂正等がある場合には申し出て頂くこととし、理事会終了後に承認することにした。

2. 大会参加申し込み時の年会費納入状況チェックについて（鈴木理事長）

前回理事会の審議事項「(5) 大会参加申し込み時の年会費納入状況チェックについて」理事長より、大会事務局が演題募集を終了した段階で、学会事務局に演題申込者の情報を送り、学会事務局が年会費未納者のチェックを行う事にしたという報告がなされた。

3. 選挙管理委員会について（西平業務執行役）

資料に基づき、選挙管理委員会構成リストが提示され、承認された。

業務執行役：西平賀昭

委員 長：須田和裕

委 員：甲斐裕子、西平賀昭

4. その他

1) 名誉会員推薦内規の改正について

（武政総務委員長）

資料に基づき、名誉会員推薦内規の内容をより明確な文章で表現するために、以下のような修正案が提示され、審議の結果、承認された。

第1条（被推薦者の資格）

名誉会員に推薦されるものは、日本体力医学会定款第7条2項に基づき、次の各号のいずれかに該当する者とする。

1) 本学会の正会員であり、役員改選年の7月31日時点で、満70歳以上の者のうち次の一つに定める条件に該当する者。

イ、本学会の理事を2期6年以上つとめた者。

ロ、~~本学会の評議員であるもの。~~大会会長等を引き受け、名誉会員に推薦される年度まで体力医学会会員として年会費を支払っている者。

ハ、その他、~~前2号に準ずる功勞のあったもの。~~
イ、ロに準ずる功勞のあった者。

~~2) 本学会の正会員以外の者で特に顕著な功績のあったもの。~~

第2条（推薦委員会名誉会員候補者名簿作成の主体）

1) 名誉会員の推薦は、推薦委員会（以下委員会という）~~が、これを行う。~~名誉会員の候補者名簿の作成は、総務委員会がこれを行う。

~~2) 委員会委員は理事の互選により、5名以内とし、任期は理事の在任期間とする。~~

~~3) 委員会は委員の互選により委員長をおくことができる。委員長は議事の進行に関する権限を有する。~~

~~4) 委員長は役員改選期の総会で、開催1カ月前までに名誉会員候補者の名簿を理事会に提出するものとする。~~

第3条（推薦の手続）

1) 理事会は前条4項の候補者名簿に基づいて、候補者の選考を行う。~~総務委員会は第1条に従って名誉会員候補者を選出し、選出された候補者個々に「受諾の可否」を尋ねる。~~

2) 評議員会は前項の選考を経たものの中から名誉会員を推挙する。~~総務委員会委員長は役員改選年の選挙直前の理事会に受諾した名誉会員候補者の名簿を提出する。~~

3) 評議員会による名誉会員の推挙は、~~総会において承認をうけるものとする。~~理事会は前項の名誉会員候補者名簿に基づいて候補者の選考を行い、名誉会員を推薦する。

4) 理事会による名誉会員の推薦は、総会において承認をうけるものとする。

第4条

本内規の改定は理事会の議決を要する。

付 則

本内規の実施は平成11年7月23日平成29年2月17日よりとする。

#二重取り消し線：旧内規付則の文言を削除した部分
下線：新たに追加した文言

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 総務委員会（武政委員長）

名誉会員推薦内規の改正について、総務委員会でメール審議を行ったことが報告された。

2) 編集委員会（田中委員長）

資料に基づき、以下のような報告がなされた。

(1) 2016年9月1日～2017年2月2日までの新規投稿状況について、JPFMSが20編（内、海外から5編）。現在の段階で、不採用は6編、受付不可3編。体力科学への投稿数は17編（昨年度に比べて3編減少）であり、こちらも現段階で、不採用は6編である事が報告された。

尚、「JPFMS」誌vol. 6-2が3月25日に、「体力科学」誌vol. 66-2が4月1日に発行予定である事が報告

された。

(2) 掲載料値上げについて、編集委員でのメール審議の結果、9割以上の賛成だったため、以下の値上げ案を提案した。

①学会員は刷り上がり6ページまで無料を廃止する。

②JPFMS掲載費を1ページ当たり5,000円に値上げする。

③体力科学、JPFMSのカラー掲載料を1ページ当たり20,000円に値上げする。

(3) 印刷費削減について、鶴岡印刷より、品質向上のために行ってきた表紙のコートインクの廃止が提案された。

(4) 整形外科領域の委員の参加について、整形外科領域からの投稿が多くなっているが、この領域の投稿論文に対応できる編集委員が少ないため、委員の任期が来たときに1、2名追加できないか、柔軟に対応したい旨、報告された。

鈴木理事長より、JPFMSに投稿した会員より、査読審査が厳しすぎるという意見を頂き、審査については、教育的配慮をお願いできないかとの提案があった。

この提案に対して、後藤副委員長より、JPFMS誌の在り方を明確に提示し、メッセージを伝えられるよう編集委員会で検討をしていく、という回答があった。これに加えて、アジア地域の先生方に学会大会で発表してもらえよう呼びかけていきたい旨、提案された。

田中委員長より、理事の先生方からも論文を投稿して頂けるよう、重ねて依頼された。

3) 渉外委員会 (永富委員長)

以下の報告がなされた。

(1) 健康日本21推進全国連絡協議会について、協議会で審議されている国の受動喫煙防止対策について、プレゼンテーション等で活動を支援していきたい旨の提案がなされた。

(2) 愛媛大会の国際セッションシンポジウムに於いて、オランダとの共同セッションを渉外委員会が担当する事が報告された。

4) 倫理委員会 (成田委員長)

前回理事会において審議された倫理審査について、『日本体力医学会倫理委員会規定 施行に関する細則(案)』が資料として配布され、改正部分の説明がなされた。

修正点は以下の通りである。

(1) 倫理審査の申請に関する事項(1)に「人を対象とする研究であっても、委員会が倫理審査を行う事が不適切である、と理事長が判断した研究については審査対象とはしない。」を追加した。

(2) 審査対象としない研究に、「ヒトES細胞、ヒトiPS細胞、ヒト受精卵などを用いた再生医療を含む研究」を追加した。

(3) 委員会に関する事項(4)に「委員長は、必要に応じて実施責任者に委員会への出席を求め、研究計画について質問することができる。」を追加した。

(4) 倫理審査の判定結果を商業広告に利用しては

いけないよう、条文に「商業広告の禁止に関する事項」を追加した。

(5) 審査料を28万円に変更した。

(6) 研究への参加についての同意撤回書を追加した。倫理審査は、4月開始に向けて3月中には学会ホームページに案内を掲載していくことが報告された。

5) 広報委員会 (甲斐委員長)

資料に基づき、株式会社テクノミックからの学会ホームページのリンク先掲載について報告があり、審議の結果、承認された。

6) 男女共同参画推進委員会 (田畑委員長)

本理事会前に開催した委員会で審議された点が報告された。

(1) 愛媛大会のシンポジウムの演者を決めた。

(2) シンポジウムに招待する演者の謝金捻出について、協賛金獲得に向けて今後委員会で検討することとなった。

7) 利益相反委員会 (宮地委員長)

利益相反自己申告書提出対象の役員・委員分を全て回収したことが報告された。

また、日本医学会の利益相反に関するガイドラインが改定されれば、利益相反自己申告書の様式も改定を行っていく旨、報告された。

8) 学術刊行物小委員会 (永富委員長)

「有疾患者向けのメディカルフィットネス」について、田中理事の働きかけにより社会保険研究所が条件なしで引き受けてくれることになったが、ページ数は当初予定していたものより少なくなる、と報告された。

2. 第72回(愛媛)大会の進捗状況

(尾形第72回大会長代理)

配布資料に基づき、大会の特別講演等準備状況について、報告があった。

会場：愛媛大学城北キャンパス、

松山大学文京キャンパス

会期：2017年9月16日(土)～18日(月)

テーマ：愛顔つなぐ体力医学

3. 第73回(福井)大会の進捗状況(或第73回大会長)

配布資料に基づき、大会会場の変更等準備状況について、報告があった。

会場：福井市フェニックスプラザ

会期：2018年9月7日(金)～9日(日)

テーマ：しあわせ元気なふくいであつむぐ体力医学
～QOL維持・向上の運動効果～

4. 第74回(茨城)大会の進捗状況(武政総務委員長)

配布資料に基づき、大会の準備状況等について報告があった。

会場：つくば国際会議場

会期：2019年9月19日(木)～21日(土)

5. その他

1) 「小児肥満症診療ガイドライン2017」
(永富渉外委員長)

日本肥満学会から、「小児肥満症診療ガイドライン2017」を刊行するにあたり、体力医学会の立場からパブリックコメントをお願いしたいという依頼があり、身体活動の所のコメントを渉外委員会が担当することが報告された。

2) 学会メールアドレス変更について

事務局である学会支援機構より、セキュリティ強化を目的としたシステム移行に伴い、体力医学会のアドレスがjspfsm@asas.or.jpから、jspfsm@asas-mail.jpに変更になることが報告された。

3) スポーツの実施状況等に関する世論調査について (宮地理事)

スポーツ庁から、「平成28年度スポーツの実施状況等に関する世論調査」の結果が開示されている、との報告がなされた。

「この1年間に運動やスポーツをしなかった」、かつ「現在スポーツをする意向がない」という人が、27.2%、スポーツの価値について、「大切」、「まあ大切」と思っている人の割合が65.9%であり、この結果をどのように捉えて、日本体力医学会としてどうすべきか、検討をするべきでないかと提案がなされた。

4) 健康日本21推進全国連絡協議会

緊急声明受動喫煙防止対策について (下光理事)

健康日本21推進全国連絡協議会会長でもある下光理事より、受動喫煙防止法案提出を支援する、緊急声明受動喫煙防止対策について、体力医学会を含む113団体の賛同があり、厚生労働省に提出を行ったことが報告された。

5) 日本体力医学会大会会場の全面禁煙について (勝村理事)

勝村理事より、日本体力医学会大会会場の喫煙場所を含めた施設の全面禁煙を行うのはどうかとの提案がなされた。

尾形大会長代理より、会場は複合施設の一部を借りるので、他の施設の利用者の都合上、施設の喫煙場所を含めた全面禁煙は難しいとの回答があり、全面禁煙という形で始めるのではなく、移行期間を設けた形で検討することになった。

6) 日本医学会分科会用語委員会

医学用語置き換えの提案について (鈴木理事長)

鈴木理事長より、「奇形」という医学用語の置き換えの提案について、理事に意見を求めたことが報告され、意見があれば、事務局まで送るよう改めて依頼された。